

抗がん剤治療に関する説明及び同意書

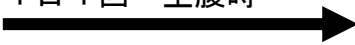
●あなたの病気・治療について

パゾパニブ（ヴォトリエント）療法

1日1回、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用します。

この薬は、食事の少なくとも1時間前、もしくは食後3時間以上経過した空腹時に服用します。

パゾパニブ療法(スケジュールと方法)

薬剤	治療法(目安)
パゾパニブ	1日1回 空腹時  効果が持続している間、 継続して服用

●副作用について

副作用の現れ方、出現頻度には個人差があります。抗がん剤による副作用は、薬で予防できるものや、症状を和らげることができるものもありますので、副作用がつらいと感じたときにも担当医にお知らせください。

起こりやすい副作用	高血圧 肝機能障害、疲れやすい、食欲不振 消化器症状 髪や皮膚の変化 味覚異常、出血、貧血
時として起こる副作用	発熱
まれにしか起こらないが 重い副作用	間質性肺炎 心機能障害

●起こりやすい副作用

① 高血圧

治療中に血圧が高くなることがあります。血圧の上昇に伴って、頭痛やめまい、肩こりなどが起こることがあります。

毎日欠かさず血圧を測定する習慣をつけてください。また、測定は安静時に、なるべく同じ時間帯に行うようにしましょう。血圧が高い場合は降圧薬を使用することもあります。

② 肝機能障害

定期的に血液検査を行います。疲れやすい、体がだるい、食欲がない等の症状が現れることもあります。肝機能障害がひどくなった場合には、薬剤投与を中止すること

あります。

③ 消化器症状

下痢、吐き気、嘔吐など。胃や腸などの機能に影響が出ることがあります。

④ 髪や皮膚の変化

髪の色が変わる、抜ける、皮膚の発疹、痒み、色が変わるなど起こる場合があります。

⑤ 出血

患者さんによっては、多少出血しやすくなったり、出血がとまりにくくなる場合があります。ケガや転倒に気をつけてください。多くの場合、出血は自然に止まりますが、しばらくしても止まらない場合は、すぐに医師に知らせてください。

⑥ 貧血

酸素を全身に運ぶ赤血球が減少することがあります。

●時として起こる副作用

① 発熱

身体は感染症の原因となる細菌やウイルスを体は排除しようとしませんが、このお薬はその働きをする白血球の機能を抑制してしまうため、感染症にかかりやすくなり、発熱することがあります。

うがい、手洗いなどをこまめに行い、感染症を予防するようにしましょう。

●まれにしか起こらないが重い副作用

① 間質性肺炎

間質性肺炎(肺臓炎)は、発症した患者さんの半分近くが命をおとす危険な副作用です。風邪のような症状(咳がひどくなる・息切れ・発熱など)が現れたら、担当医に伝えるようにしてください。

② 心機能障害

動悸がはげしい、息苦しい、足がむくむといった症状は原因が心臓にある場合があります。違和感がありましたら早めに主治医にご連絡ください。

抗がん剤治療による様々な副作用は上記以外にも起こることが報告されています。適切な治療を行ったにも関わらず、お亡くなりになる方もいらっしゃいます。上記のような症状、または上記以外でもいつもと違う症状が出た場合は、担当医まで連絡してください。

以上がん化学療法について説明をしました。 西暦 年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

@USERSECTION 担当医師

上記について担当医から説明を受け、納得しましたので治療を受けることに同意します。

西暦 年 月 日

患者氏名 _____

親族又は代理人(配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法定代理人・その他)

氏名 _____

続柄